

武蔵野市地域包括ケア人材育成センター事業について (平成30年度～令和元年10月)

福祉サービスの拡充や地域福祉活動の推進に向け、専門職や地域の担い手も含めた福祉人材の育成と確保を目的に、「地域包括ケア人材育成センター」を平成30年12月1日に開設した。運営は公益財団法人武蔵野市福祉公社に委託している。

(注)平成30年12月1日開設日以前に実施した研修事業等について、開設前は、福祉公社他部門が主管する事業を支援する形で実施し、開設後、同センター事業として実施した。

(1) 事業内容

人材の発掘・養成、質の向上、相談受付や情報提供までを一体的に行う総合的な支援を開始した。第3期健康福祉総合計画に記載された「活かす」「育てる」「つなぐ」「支える」の4つの機能をもたせ、福祉サービス事業者及びその従事者への様々な支援を目的とした事業を順次実施していく。

①人材養成事業（活かす）：介護職員初任者研修、武蔵野市認定ヘルパー養成研修 等

ア) 介護職員初任者研修

平成30年度	5/29～9/11 (25日間、130時間) + 訪問実習2時間、修了者10名 (受講12名)
令和元年度	5/29～9/11 (25日間、130時間) + 訪問実習2時間、修了者10名 (受講10名)

イ) 認定ヘルパー養成研修

平成30年度	第1回：6/11～7/6・8日間、修了者7名 (受講7名) 第2回：2/13～15・3日間、修了者5名 (受講7名)
令和元年度	第1回：6/14～7/8・8日間、修了者10名 (受講10名) ※第2回は2月に実施予定。

ウ) 武蔵野市認定ヘルパーフォローアップ研修

平成30年度	第1回：9/14(金)受講者19名、「利用者と支援者のより良いコミュニケーション技術」 第2回：12/11(火)受講者15名、第3回：2/21(木)受講者18名
令和元年度	第1回：9/17(火)受講者24名、「利用者と支援者のより良いコミュニケーション技術」 ※第2回は11/15、第3回は12/16に実施予定。

②研修相談事業（育てる）：技術研修、認知症支援研修、福祉従事者の悩み相談 等

ア) 技術研修

平成30年度	第1回：9/26(水)「移乗について(初級編)」受講者39名 第2回：12/20(木)「生活に必要な移動支援(中級編)」受講者33名 第3回：2/26(火)「指導者向け移乗・移動の支援」受講者30名
令和元年度	※「介護職の医療的ケア(仮称)」をテーマに、11/28、12/10、1/23開催予定。

イ) 武蔵野市認知症見守り支援ヘルパー養成研修(全3回)

平成30年度	第1回：10/10(水)医学的アプローチ・受講者62名、第2回：10/25(木)心理的アプローチ・受講者38名 第3回：11/8(木)実践的アプローチ・受講者67名
令和元年度	第1回：10/17(木)医療的アプローチ・受講者84名、第2回：10/21(月)心理的アプローチ・受講者55名 ※第3回は11/18に実施予定。

ウ) 介護従事者の悩み相談事業

平成 30 年度 (12/1~3/31)	5 件	内容：有資格者の就労。活動中のヘルパーとしてのケース対応。障害児支援の人材育成に関して。事業所管理者から求人について 等
令和元年度 (4/1~10/31)	8 件	内容：家事援助のできる研修を受けたい。親の介護経験を活かして家事援助の仕事をした い 等

エ) その他

◎初任者研修受講料返還制度

令和元年度	6 名
-------	-----

③就職支援事業（つなぐ）：ホームページ・ツイッター等による情報提供、お仕事フェア、就職相談会 等

平成 30 年度	<p>◎第 1 回介護・福祉のお仕事フェア「カイゴのシゴト」</p> <p>日時・場所：平成 31 年 3 月 23 日（土）午後 2 時～4 時・武蔵野プレイス 4 階フォーラム</p> <p>内容・講師：セミナー&ワークショップ セミナーのテーマ「介護のリーダーは日本のリーダーになる」・秋本可愛氏（株式会社 Join for Kaigo 代表取締役、東京都福祉人材対策推進機構専門部会委員）</p> <p>参加者：56 名</p>
令和元年度	<p>◎若者プロジェクト</p> <p>介護系 40 歳未満職員を対象。若手の離職防止、定着支援を目的に情報共有・情報発信、さらには創造の場の共有を行う。</p> <p>第 1 回：9/13(金)午後 7 時～8 時 30 分、参加者 15 名</p> <p>第 2 回：10/11(金)午後 7 時～8 時 30 分、参加者 11 名</p> <hr/> <p>◎お仕事フェア</p> <p>介護の仕事に関する普及・啓発。事務局及び若者プロジェクトにて、実施時期等を検討中。</p> <hr/> <p>◎就職相談会</p> <p>ハローワークとの連携について検討中。</p> <hr/> <p>◎潜在的有資格者復帰支援</p> <p>11/15、チラシを全戸配布</p>

④ 事業者・団体支援事業（支える）：管理者・経営者向け研修、事業所の求人案内 等。

令和元年度	<p>◎管理者・経営者向け研修</p> <p>第 1 回：9/27(金)午後 6 時 30 分～8 時 30 分、ハラスメント対応力の向上、参加者 59 名</p>
-------	--

(2) その他

・ホームページ <https://m-machigurumi.jp/>



・ツイッター https://twitter.com/m_jinzai



武蔵野市在宅医療・介護連携推進事業
国の定める8事業への取り組みについて

令和元年11月20日
健康福祉総合計画・地域リハビリテーション推進会議
資料1-2 地域支援課

	平成28年度の実績	平成29年度の実績	平成30年度の実績	令和元年度上半期の実績
ア	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション機関名簿のWEB化 ・既存資料の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存資料の活用 ・リハビリテーション機関名簿のWEB化 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存資料の活用 ・リハビリテーション機関名簿のWEB化 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存資料の活用 ・リハビリテーション機関名簿のWEB化 ・医療資源WEBマップの導入検討
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催 (3回開催) ・4部会の活動を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催 (3回開催) ・認知症連携部会を新設し5部会設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催 (3回開催) ・5部会で活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催 (1回開催) ・5部会で活動
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・「入退院を繰り返す可能性のある要介護者等における再発防止のためのセルフマネジメントの在り方に関する調査研究事業」への協力 ・訪問看護と介護の連携強化事業 ・認知症初期集中支援チームの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院時支援の現状の課題を事例を通して検討 ・認知症連携部会高齢者及び家族を取り巻く医療・介護連携の課題の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時の病院への情報提供の仕方について検討 ①「入院時情報連携シート」を作成し試行 ②今後の「入院時情報連携シート」の活用方法について検討 ・認知症高齢者を支援するための医療と介護のチームによる連携の体制づくりについて検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時にける「入院時情報連携シート」を活用した病院との連携 ・身寄りのない方の入院時支援の課題の検討 ・認知症初期集中支援チームによる連携の体制づくり
エ	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用の進捗管理と課題抽出 ・活用の実際を共有するための「活用事例集」の検討 ・ICT連携登録数 453名(平成28年度報告書より) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT連携の現状把握(患者グループの現状)と今後の連携のあり方について検討 ・ICT連携登録数 521名(平成29年度報告書より) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT連携の現状把握 ・ICT連携登録数 565名(平成30年度報告書より) ・医師会「在宅医療介護連携支援室」のホームページの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用の現状把握と課題抽出 ・ICT連携登録数 (元年9月末現在) 586件
オ	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療介護連携支援室(H27.7～、運営を医師会に委託) ・相談実績 180件 ・医師会の窓口として(ア)～(ク)8事業へ参加 ・在宅介護・地域包括支援センター研修会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談実績 222件 ・医師会の窓口として(ア)～(ク)8事業へ参加、各部会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談実績 201件 ・医師会の窓口として(ア)～(ク)8事業へ参加、各部会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談実績 103件 ・医師会の窓口として(ア)～(ク)8事業へ参加、各部会への参加
カ	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種合同研修会の開催 70名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・「摂食嚥下機能障害」をテーマに合同研修会と同グループワークを実施 ①合同研修 3回 計 191名参加 ②合同グループワーク 78名参加 ・講演会「地域で食べるを支えるということ」 計 133名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・「薬に関すること」をテーマに合同グループワークを実施 78名参加 ・他の職種との連携の広がり、テーマに対する知識の深まりの確認のため、3か月後にアンケートを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ACP(アドバンス・ケア・プランニング)に関することとをテーマに研修会及び合同グループワークを実施 ①研修会 147名参加 ②合同グループワーク 76名参加
キ	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養に関するリーフレットの作成 ・講演会「いつまでも住み慣れた地域で暮らす」 173名参加 ・「ケアアリンピック武蔵野2016」 963名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向けセミナー開催 12月16日(土) 89名参加 「もしあなたが望むなら家で最期まで暮らせませす～安心してくらし続けるために、知っておきたい制度と心構え～」 ・「ケアアリンピック武蔵野2017」 612名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向けの普及啓発について検討 ①市民向けセミナー開催 2月16日(土)スイングホール 178名参加 「住み慣れた地域で、最期まで自分らしく暮らし続けるために～いのちの終わりについて話し合うアドバンス・ケア・プランニング(ACP)～」 ・地域で行う小規模セミナー一試行実施 3月11日(月)7名参加 ・「ケアアリンピック武蔵野2018」 868名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向けの普及啓発について検討 ・市民向けの普及啓発について検討 ・市民向けセミナーの開催準備 ・小規模セミナーについて検討
ク	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のネットワークの強化 ・リハビリテーション機関名簿のWEB化【(ア)再掲】 	<ul style="list-style-type: none"> ・北多摩南部保健医療圏による情報共有 ・リハビリテーション機関名簿のWEB化 ・東京都在宅療養担当者連絡会への参加、情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・北多摩南部保健医療圏による情報共有 ・リハビリテーション機関名簿の更新準備 ・東京都在宅療養担当者連絡会への参加、情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・北多摩南部保健医療圏による情報共有 ・リハビリテーション機関名簿の更新準備 ・東京都在宅療養担当者連絡会への参加、情報共有

武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会
 任期：平成30年4月1日～平成33年3月31日まで

【構成メンバー】

○武蔵野市医師会 ○医師会在宅医療介護連携支援室
 ○武蔵野市歯科医師会 ○武蔵野市薬剤師会
 ○武蔵野赤十字病院 ○居宅介護支援事業所 ○訪問介護事業所
 ○訪問看護・訪問リハビリテーション事業所
 ○通所介護・通所リハビリテーション事業所
 ○地域包括支援センター(基幹型) ○在宅介護・地域包括支援センター
 ○基幹相談支援センター ○地域活動支援センター ○武蔵野市福祉公社
 ○武蔵野健康づくり事業団 ○東京都多摩府中保健所 ○武蔵野市

<p>(ウ)切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築</p> <p>入退院時支援部会 【構成メンバー】</p> <p>○医師会 ○医師会(病院部) ○医師会支援室 ○歯科医師会 ○武蔵野赤十字病院(医療連携センター) ○居宅介護支援事業所 ○訪問看護・訪問リハ ○通所介護・通所リハ ○吉祥寺南病院地域医療連携室 ○武蔵境病院地域医療連携室 ○武蔵野陽和会病院医療福祉相談室 ○吉方病院 ○地域包括支援センター(基幹型) ○在宅介護・地域包括支援センター ○生活福祉課 ○障害者福祉課 ○健康課 ○事務局(地域支援課)</p>	<p>(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援</p> <p>ICT連携部会 【構成メンバー】</p> <p>○医師会 ○医師会支援室 ○歯科医師会 ○武蔵野赤十字病院 ○居宅介護支援事業所 ○訪問看護・訪問リハ ○訪問介護 ○通所介護・通所リハ ○地域包括支援センター(基幹型) ○在宅介護・地域包括支援センター ○高齢者支援課 ○事務局(地域支援課)</p>	<p>(イ)医療・介護関係者の研修</p> <p>多職種連携推進・研修部会 【構成メンバー】</p> <p>○医師会 ○医師会支援室 ○歯科医師会 ○薬剤師会 ○武蔵野赤十字病院(医療連携センター) ○居宅介護支援事業所 ○訪問看護・訪問リハ ○訪問介護 ○通所介護・通所リハ ○福祉公社 ○地域包括支援センター(基幹型) ○在宅介護・地域包括支援センター ○多摩府中保健所 ○健康づくり事業団 ○生活福祉課 ○高齢者支援課 ○障害者福祉課 ○健康課 ○事務局(地域支援課)</p>	<p>(キ)地域住民への普及啓発</p> <p>普及啓発部会 【構成メンバー】</p> <p>○医師会支援室 ○歯科医師会 ○薬剤師会 ○武蔵野赤十字病院(医療連携センター) ○居宅介護支援事業所 ○訪問看護・訪問リハ ○訪問介護 ○地域包括支援センター(基幹型) ○在宅介護・地域包括支援センター ○健康づくり事業団 ○高齢者支援課 ○健康課 ○事務局(地域支援)</p>
--	---	---	--

<p>(ウ)(エ) 認知症連携部会 【構成メンバー】</p> <p>○医師会 ○武蔵野赤十字病院 ○日赤医療連携センター ○訪問看護 訪問リハ ○福祉公社(ホームヘルプセンター) ○居宅介護支援事業所 ○訪問介護 ○通所介護・通所リハ ○認知症介護指導者 ○地域支援課 ○地域包括支援センター(基幹型) ○在宅介護・地域包括支援センター ○事務局(高齢者支援課相談支援係)</p>	<p>平成29年7月設置</p>
--	------------------

令和元年度 武蔵野市共同募金事業について

本市では、10月の赤い羽根共同募金は赤十字奉仕団、12月の歳末たすけあい募金は民生児童委員協議会を中心に戸別訪問活動によって募金活動を推進していたが、昨年度、共同募金事業のあり方について、武蔵野市共同募金事業あり方検討会にて検討した結果、戸別訪問活動による募金の継続は困難であり、今後は共同募金事業に対して何らかのかたちで協力する施設・団体等で構成された地区協力会を中心に共同募金事業を地域全体で推進することとなった。

1 地区協力会構成団体

武蔵野市民社会福祉協議会、武蔵野市赤十字奉仕団、武蔵野市民生児童委員協議会、武蔵野商工会議所、武蔵野市商店会連合会、武蔵野千川福祉会、多摩信用金庫、コミュニティ研究連絡会、地域福祉活動推進協議会 計9団体

2 地区協力会の募金活動の主な内容

①チラシ・ポスターによる広報活動

- ・市関連施設（コミュニティセンター、市政センターほか）でのチラシ配架、ポスターを掲示
- ・地区協力会参加団体内部の会議等でチラシの配布
- ・配布可能な範囲内でのポスティング

②募金箱設置箇所増設

【設置期間】：赤い羽根共同募金 10月1日から31日、歳末たすけあい募金 12月1日から31日

【設置施設】※市役所本庁舎、※市政センター（3か所）、コミュニティセンター（13か所、けやき、桜堤、緑町を除く）、※市民社協、商工会議所、※武蔵野千川福祉会（8か所・歳末のみ）、※高齢者総合センター、※障害者総合センター、中央地区商店連合会事務所ほか
計30か所以上（赤い羽根共同募金は22か所） ※領収証対応施設

③街頭募金活動（吉祥寺・三鷹・武蔵境駅周辺）

赤い羽根共同募金：10月5日（土） 地区協力会参加団体、募金配分団体等 15団体（のべ134名）
歳末たすけあい募金：12月2日（月）、12月17日（火）、12月21日（土）

④封筒募金の試行

- ・個人・集合住宅における取りまとめの際に募金用封筒を配布し、とりまとめに利用。
- ・地区協力会参加団体内部の会議等で募金用封筒を回覧し募金集約

3 赤い羽根共同募金実施結果（令和元年11月12日現在）

- ①募金総額 942,592 円（昨年度募金額 6,296,443 円、昨年度比▲5,353,851 円（▲85%））
- ②チラシ約 26,000 部、ポスター約 120 部を配布

武蔵野市シニア支え合いポイント制度 令和元年度事業実績

1 平成30年度分ポイント 還元実績（期間：平成31年3月1日～3月29日）

還元内容	還元件数（件）	還元ポイント数
市民社協への寄付	36	760
市内産野菜等引換券	13	540
人間ドッグ利用助成券	2	70
図書カード	37	1,180
QUOカード	71	2,640
還元なし（ポイントの繰り越しのみ）	10	0
合計	169	5,190

2 協力施設・団体

25 施設・団体（令和元年11月1日）

令和元年度新規加入内訳

平成31年4月より加入・・・ナースケアたんぽぽの家、ベストライフ吉祥寺、介護付有料老人ホームコートローレル、ホスピタルメント武蔵野、介護付有料老人ホームシルバーシティ武蔵境、

令和元年9月より加入・・・マザアスホームだんらん武蔵境

3 令和元年度説明会兼研修会参加者及びサポーター登録者数

令和元年度 説明会の開催

- ・開催回数 7回（平成31年4月～令和元年10月）
- ・参加者数 合計41名（うちサポーター登録者数36名）

※累計数 → 説明会参加者数：437名 サポーター登録者数 376名（令和元年11月1日現在）

4 シニア支え合いサポーター活動実績

平成30年度（平成30年4月～平成31年3月）

実施日数 （日）	延人数（人）	付与ポイント
1,886	4,119	7,679

令和元年度（平成31年4月～令和元年10月）

実施日数 （日）	延人数（人）	付与ポイント
1,182	2,572	4,665

5 令和元年度説明会

毎月開催の説明会

	日付	時間	会場	参加者(名)	登録者(名)
1	4月24日(水)	午前10時～正午	武蔵野市役所 西棟8階811会議室	14	13
2	5月31日(金)	午前10時～正午	武蔵野プレイス 4階フォーラム	12	10
3	6月28日(金)	午後2時～4時	武蔵野公会堂 2階 第1・第2会議室	6	4
4	7月25日(木)	午前10時～正午	武蔵野プレイス 3階スペースC	2	2
5	9月25日(水)	午後2時～4時	武蔵野市役所 西棟1階111会議室	5	5
6	10月23日(水)	午後2時～3時	武蔵野公会堂 2階 第2会議室	2	2
7	11月27日(水)	午前10時～11時	武蔵野スイング 10階 スカイルーム1		
8	12月20日(金)	午後2時～3時	武蔵野市役所 西棟1階 111会議室		
9	1月28日(火)	午前10時～11時	武蔵野市民社会福祉協議会 1階 会議室		
10	2月26日(水)	午前10時～11時	武蔵野市役所 西棟4階 411会議室		
11	3月27日(金)	午前10時～11時	武蔵野プレイス 3階 スペースC		
				41	36

出前説明会

1	10月16日(水)	午前10時～11時	御殿山コミセン	3	2
---	-----------	-----------	---------	---	---

6 協力施設・団体の拡大への取り組み

10月に市内通所介護・通所リハビリテーション事業所へ意向調査を実施した。現在、各デイサービスへ訪問し、直接協力依頼を行っている。

7 令和元年度分ポイント 交換期間

	期間	窓口
令和元年度 付与分	令和2年 3月2日～31日	① 武蔵野市民社会福祉協議会ボランティアセンター武蔵野 ② 武蔵野市地域支援課 ③ 郵送受付

生活困窮者自立支援事業の実施状況について

1 生活困窮者総合相談窓口実績

平成 27 年度より生活困窮者総合相談窓口を設置。

令和元年 10 月までの相談件数は、前年度同期と比べ、同程度で推移しており、生活困窮者総合相談窓口は、これまでの周知により、一定の認知を得ていると思われる。今年度 7 月末に周知チラシの全戸配布を行った。

平成 27～令和元年度相談件数。令和元年度は 4～10 月の相談件数

(単位：件)

年度	27	28	29	30	R1 (30 同期)
生活困窮相談	258	322	313	377	218 (218)
生活保護相談	628	632	563	631	353 (365)
合計	886	954	876	1008	571 (583)

注) 相談内容から生活困窮相談、生活保護相談の双方に計上したものあり。

2 法内事業の利用件数等実績 ※令和元年度については 10 月末現在

(1) 自立相談支援事業

複合的課題を抱える傾向にある生活困窮者に対し、課題等の解決に向けて本人の状況に応じた包括的な支援を実施。

平成 27～令和元年度支援実績

(単位：件)

年度	27	28	29	30	R1
新規利用件数	66	114	110	114	100

(2) 住居確保給付金支給事業

離職による住居の喪失を防止するため、家賃相当額（上限額あり）の給付金を支給する。

平成 27～令和元年度支援実績

(単位：件)

年度	27	28	29	30	R1
新規支給決定件数	16	19	15	24	17

(3) 就労準備支援事業

直ちに就労が困難な生活困窮者に対し、一般就労の前段階としての社会的能力の習得や就職活動に向けた知識の習得等の支援を実施。

平成 27～令和元年度支援実績

(単位：人)

年度	27	28	29	30	R1
実利用者数	2	13	17	9	5

(4) 学習支援事業

貧困の連鎖の防止を目的に、基礎学力の向上を目指した補習教室を実施。

年 度	27	28	29	30	R1
実利用者数	9	11	10	35	23

※参考（令和元年度新規実施）

令和元年度	6月	7月	8月	9月	10月
実利用者数	6	9	6	8	8

(5) 家計改善支援事業

生活困窮者が自身で家計の把握を行い、その改善に取り組む力を育てる支援。

年 度	30	R1
実利用者数	7	5

3 令和元年度新規事業

学習支援事業（新規実施）

学習支援事業（サポート型）令和元年度6月からの新規事業。

対象：小学校3年生～中学3年生で、集団が苦手であるなど従来の少人数型では対応が難しい方

教科：国語・数学・英語

会場：武蔵野市民文化会館会議室

回数：週1回

定員：10名

委託先：(株)トライグループ

※少人数型（シルバー人材センター）では、一般の補習教室自費利用者と一緒に学習するが、サポート型は同事業の利用者のみで、より個別的・専門的な支援を行う。

今年度は、一般公募は行わず、生活保護世帯にケースワーカーを通じ利用意向を確認し実施。

4 広報・周知、連携について

(1) 広報、周知

①市報掲載（4月15日号）

②「啓発用カード」を関係各課・関係施設へ配布（10月）

③事業周知チラシ全戸配布（7月末）

④民生委員との懇談会にて事業周知・協力依頼（6月）

⑤職員向けニュースレター発行（6月、11月）

(2) 連携

①庁内連携 生活困窮者自立支援庁内連絡会議

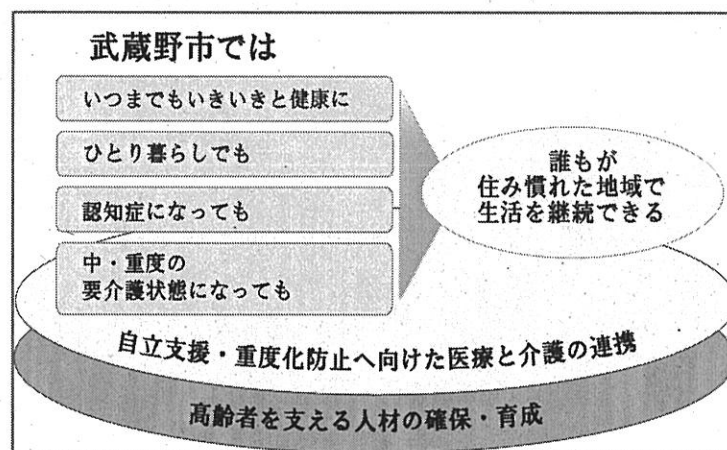
②庁外連携 見守り・孤立防止ネットワーク連絡協議会

武蔵野市高齢者福祉計画・第 8 期介護保険事業計画の策定に向けて

1 策定の目的と背景

令和 3 (2021) 年 4 月からスタートする「武蔵野市高齢者福祉計画・第 8 期介護保険事業計画」の策定に向け、令和元年度は 8 つの実態調査を実施する。各調査の結果による市民ニーズを踏まえ、2025 年のみならず、介護や医療ニーズがピークを迎える 2040 年を見据えて、「まちぐるみの支え合いの仕組みづくり (武蔵野市版地域包括ケアシステム)」をさらに推進していく。

2025 年に向けて武蔵野市が目指す“高齢者の姿とまちづくり”



2 次期計画策定へ向けた実態調査の実施

令和元年度に以下の実態調査を実施し、エビデンスと分析に基づいて次期計画策定にあたる。

- ① 高齢者の介護予防・日常生活アンケート調査
- ② 要介護高齢者・家族等介護者実態調査 (在宅介護実態調査)
- ③ ケアマネジャーアンケート調査
- ④ 介護職員・看護職員等実態調査
- ⑤ 独居高齢者実態調査
- ⑥ その他アンケート・ヒアリング調査
- ⑦ [NEW] 在宅生活改善調査
- ⑧ [NEW] 居所変更実態調査 (介護施設等における入退所調査)

3 今後のスケジュール

- 令和 2 年 3 月 実態調査の報告書完成
5 月 次期計画策定委員会の開催

エンディング支援事業について

1 目的

高齢者が最期までその人らしい人生を送ることができるよう、エンディングに関する相談やエンディングノートの配布・出前講座を通じて、今をよりよく、前向きに生きることを支援する。

2 対象

概ね 65 歳以上の市民

3 内容

○エンディング相談支援（平成 31 年 4 月 1 日より実施）

エンディングに関すること等について相談を受け付ける。葬儀や家財整理等の生前契約について、必要な方には福祉公社を案内する。

○エンディングノートの配布・出前講座（令和元年 7 月 15 日より実施）

*配布場所 高齢者支援課、在宅介護・地域包括支援センター、福祉公社

*出前講座 終活の目的・内容、エンディングノート記入のポイント等を説明
5 名以上、会場を用意して 3 週間前までに要申込

4 エンディングノートの配布・出前講座実績（7 月～10 月）

○エンディングノート配布部数

約 2,410 部

○出前講座実施状況

24 回開催、509 名参加

*受講団体 老人クラブ、コミセン、テンミリオンハウス、いきいきサロン、地域社協、いきいきセミナー、地域住民（有志の集まり）、介護事業者 等

*受講後の感想

- ・メディアなどでエンディングノートの事は聞いていましたが、実際に見るのは初めて。年齢的にもそろそろ考え始める良い機会となりました。
- ・“自己決定が出来るうち”が大事ということがわかりました。
- ・ご近所の一人暮らしの方にも知らせたいと思った。
- ・娘にも相談して書いておこうと思います。

桜堤地区における福祉サービス再編に向けた取り組み

1 検討経過

平成 29 年度に策定した、武蔵野市第 3 期健康福祉総合計画(「桜堤地区における障害者施設の役割とあり方の検討」)に基づき、「桜堤地区における福祉サービス再編検討委員会」を設置し、桜堤地区における高齢者施設及び障害者施設の役割やあり方、福祉サービスの再編について検討を行った。

8 月には委員会で出された報告書(案)に対するパブリックコメントを実施し、9 月 12 日に市長へ報告書が提出された。

2 報告書の内容

(1) 課題

桜堤地区では、近年、特別養護老人ホームや知的障害者グループホームが開設したほか、旧くぬぎ園跡の公有地を活用して、通所リハビリテーションや訪問看護ステーションを併設した介護老人保健施設が令和 2 年 4 月に開設を予定しているなど、福祉サービスを巡る環境が大きく変化している。

このような中、桜堤ケアハウスデイサービスセンターについては、利用者数の低迷と恒常的な赤字の状況が続いている。一方、障害児支援については、相談件数の増加や肢体不自由児等を対象とした放課後等デイサービス事業所の不足などの課題がある。

(2) 提言

- ・桜堤ケアハウスデイサービス機能の転換
- ・肢体不自由児を対象とした放課後等デイサービス事業の実施及び「地域療育相談室ハビット」のサテライトオフィスの設置
- ・地域共生社会の実現に向けた、相談支援体制等の機能強化

3 スケジュール

- ・令和 2 年 3 月 31 日
桜堤ケアハウスデイサービスセンター事業 廃止
- ・令和 2 年度中
放課後等デイサービス事業及び療育相談事業を実施

「武蔵野市障害者福祉についての実態調査」の実施について

1 調査目的

障害者が日常生活を送る上で必要となるサービスを把握・分析し、令和 2（2020）年度に策定する「武蔵野市障害者計画・第 6 期障害福祉計画」の基礎資料を得るために実施する。

2 調査設計

(1) 調査対象者 3,000 名

身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳の各手帳所持者と自立支援医療（精神通院）受給者及び難病医療費助成の受給者の中から無作為抽出

(2) 調査期間

令和元年 11 月 28 日～12 月 20 日 ※市報 12/1 号で周知

(3) 調査方法

配布、回収とも郵送による

3 前回（平成 28 年 11 月実施）の調査結果

区 分	発送数	回収数	回収率
身体障害	1,273	709	55.7%
知的障害	412	267	64.8%
精神障害	774	380	49.1%
難病・特定疾患	541	304	56.2%
合計	3,000	1,660	55.3%

4 今後のスケジュールについて

- ・ 11 月 28 日（木） 調査票発送 ※回答期限 12 月 20 日（予定）
- ・ 1 月 集計分析、地域自立支援協議会で報告（速報版）
- ・ 3 月 報告書完成

第 18 頁

第 18 頁

第 18 頁

第 18 頁

第 18 頁

第 18 頁

第 18 頁

第 18 頁

第 18 頁

第 18 頁

第 18 頁

医療機関における産後ケア（宿泊型・日帰り型）事業について

- 1 事業概要 家族等から十分な家事及び育児等の支援が得られない、育児不安等のある産後 4 か月未満の母子を対象に、医療機関等のベッドを活用して、助産師等の看護職が中心となり、心身のケアや育児のサポート等を行う産後ケア（宿泊型・日帰り型）事業を令和元年 7 月より実施。
- 2 対象者 下記すべてにあてはまる母と生後 4 か月未満の子
 ・武蔵野市民 ・体調不良や育児不安がある ・家族などからの援助が受けられない
 ※医療行為の必要な方は利用できない
 ※申請は妊娠 8 か月以降の妊婦及び産後早期の産婦
- 3 支援内容 ・母体ケア（健康状態のチェック、休息・睡眠など）
 ・乳児へのケア（健康状態のチェック、体重や栄養のチェックなど）
 ・育児相談、授乳支援、沐浴など
- 4 実施施設 ① 武蔵野赤十字病院（宿泊型 2 床）：生後 8 週間までの乳児と初産婦
 2 泊 3 日（10 時～翌々日 15 時まで）
 ② むさしのレディースクリニック（日帰り型 2 床）：生後 4 か月未満の乳児とその母
 1 日（9 時 30 分～16 時 30 分まで）
- 5 利用者負担・市負担・事業費

実施施設	サービス内容	利用時間	利用者負担	利用日数
武蔵野赤十字病院	宿泊型（2 泊 3 日）	初日午前 10 時～ 最終日午後 3 時	20,000 円	合計 7 日間まで
むさしのレディース クリニック	日帰り型（1 日）	午前 9 時 30 分～ 午後 4 時 30 分	4,000 円+税	

（利用者負担軽減）・住民税非課税者＝自己負担半額、生活保護受給者＝自己負担なし

・子ども・子育て応援券（こども商品券）で、自己負担額の支払いが可能

*ふたご・みつごの場合は、乳児一人につき自己負担額が追加

6 事業実績（令和元年 7 月～10 月）

・登録者数： 122 人

・利用者数： 宿泊型 利用実人数 14 人 延日数 68 日
 日帰り型 利用実人数 29 人 延日数 79 日

